

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	ノリタケソルダリングインベストメント SQ
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	歯科ろう付用埋没材
整理番号	866-305101

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	生殖細胞変異原性 発がん性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2 区分1A 区分3(気道刺激性) 区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策	使用前に添付文書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 個人用保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。 粉塵、ヒュームを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
応急措置	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。 吸入した場合、呼吸に関する症状が出た場合:医師の手当て、診断を受けること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
保管	高温多湿は避け、換気の良い場所で保管すること。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
硫酸カルシウム半水塩	20-30	10034-76-1	1-193	非該当	非該当	非該当	非該当
シリカ(石英):結晶質※1	35-45	14808-60-7	1-548	≥0.1%	≥0.1%	非該当	非該当
シリカ(クリストパライト):結晶質※2	20-30	14464-46-1	1-548	≥0.1%	≥0.1%	非該当	非該当
含水ケイ酸アルミニウム	5-15	非開示	-	非該当	非該当	非該当	非該当

※1 発がん性:区分1A、特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)

※2 発がん性:区分1A、特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器)

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吸入した場合、呼吸に関する症状が出た場合:医師の手当て、診断を受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 医師の手当て、診断を受けること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、噴霧水、泡消火剤、乾燥砂、炭酸ガス
特有の危険有害性	不燃性であり、これ自身は燃えないが、加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 保護具および緊急措置	回収が終わるまで、十分な換気を行う。 関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項 回収・中和 封じ込め及び浄化方法・機材	河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水(濡れた新聞紙等)で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
安全取扱い注意事項	全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。 使用前に添付文書を入手すること。 この製品を取り扱う時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
保管条件	高温多湿は避け、換気の良い場所で保管すること。
容器包装材料	オリジナルの包装袋を使用し、湿気を防ぐために封をすること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会	硫酸カルシウム 吸入性粉塵: 2mg/m ³ 、総粉塵: 8mg/m ³ 結晶質シカ 吸入性粉塵: 0.03mg/m ³ 、総粉塵: —
ACGIH	硫酸カルシウム TLV-TWA: 8mg/m ³ 結晶質シカ TLV-TWA: 0.025mg/m ³
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋(ニトリル製、塩化ビニル製等)を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な眼の保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体粉末
色	灰白色
臭い	無臭
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	不燃性
分解温度	700°C以上
pH	中性(7~9)
動粘性率	情報なし
溶解度	
水	水への溶解度: 0.6g/100ml 20°C(硫酸カルシウム半水塩)
有機溶剤	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	2.7(硫酸カルシウム半水塩) 2.6(石英)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の保管及び取扱では安定。
危険有害反応可能性	特に記載すべき反応性はない。
避けるべき条件	粉塵の拡散。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

1 1. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性

経口
経皮
吸入

情報なし
情報なし
吸入(ガス): GHSの定義における固体である。
吸入(蒸気): GHSの定義における固体である。
吸入(粉塵): データ不足のため分類できない

皮膚腐食性/刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感作性

皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

情報なし
加成性: 区分外
吸入すると咳を生じるが、データ不足のため分類できない。
情報なし
区分2: 結晶質シリカ(石英、クリストパライト)
区分1A 発がんのおそれ: 結晶質シリカ(石英、クリストパライト)
カットオフ値: 区分外
区分3 気道刺激性: 硫酸カルシウム半水塩
区分1 腎臓、呼吸器、免疫系: 結晶質シリカ(石英)
呼吸器: 結晶質シリカ(クリストパライト)

誤えん有害性

情報なし

1 2. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性

残留性・分解性

生体蓄積性

土壤中の移動性

オゾン層への有害性

情報なし
情報なし
情報なし
情報なし
情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理を行う。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者などに危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。
UN No. : 該当しない
Proper Shipping Name : -
Class : -
Packing Group : -
航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。
UN No. : 該当しない
Proper Shipping Name : -
Class : -
Packing Group : -

国内規制

陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。
海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)
航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

15. 適用法令

化審法	特段規制なし
安衛法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : 結晶質シリカ
化管法(PRTR法)	非該当
毒劇法	非該当
消防法	非該当
じん肺法	結晶質シリカ

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実用を前提としたものであるため、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。